

固定資産管理の不備

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項	措置の内容										
大阪府文化財センター	<p>固定資産台帳に登録されている下記の資産について、実査したところ現物を確認することができなかった。</p> <table border="1" data-bbox="433 548 1374 703"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>資産番号</th> <th>資産名称</th> <th>取得年月日</th> <th>取得原価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルビデオカメラ</td> <td>A-11-15-2006-01</td> <td>ソニーHDRUX7</td> <td>平成19年3月20日</td> <td>120,000円</td> </tr> </tbody> </table>	分類	資産番号	資産名称	取得年月日	取得原価	デジタルビデオカメラ	A-11-15-2006-01	ソニーHDRUX7	平成19年3月20日	120,000円	<p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、大阪府文化財センター会計規程に基づき、適正な事務処理を行われたい。</p> <p>【大阪府文化財センター会計規程】 第45条(2) 固定資産管理責任者は、毎事業年度末又は必要と認めるとき、固定資産の現状を調査し、固定資産台帳との照合を行わなければならない。</p>	<p>現物確認できなかった資産について、本部事務所及び全調査事務所において、調査を行ったところ、過年度において配置換えされていたことが判明した。また、当該配置換え先の実査を行ったところ、経年劣化等による使用不能のため廃棄処分していたことが確認されたため、固定資産台帳から当該資産を除却した。</p> <p>また、同様事案の再発防止を図るため、遺漏なき固定資産台帳の更新手続や定期的な固定資産実査と報告書の作成を徹底することを全体幹部会議で周知した。</p> <p>今後は、当センター会計規程に基づき適正な事務処理を行う。</p>
分類	資産番号	資産名称	取得年月日	取得原価									
デジタルビデオカメラ	A-11-15-2006-01	ソニーHDRUX7	平成19年3月20日	120,000円									

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和2年10月14日から同月15日まで）